

座談会等開催委託業務公募型プロポーザルに係る
オンライン説明会における質疑と回答

【質問 1】

令和 7 年度に実施した座談会の地域別の参加者数を教えてほしい。

【回答 1】

下表のとおりとなります。

地域	開催場所	対象者	参加者数
中央東地域	高知農業高校	森林総合課2年生	14 名
	森林研修センター情報交流館	情報交流館ネットワーク構成団体 (ボランティア団体)	16 名
須崎地域	四万十高校	自然環境コース3年生	17 名
	須崎地区森林組合	須崎地区森林組合技術員及び職員	42 名

【質問 2】

令和 7 年度に実施した座談会を踏まえ、令和 8 年度の座談会の課題はなにか。

【回答 2】

令和 7 年度の座談会では、地域の高校や森林保全ボランティア団体、森林組合等に対象を絞って、各団体の視点での県森林環境税に対する意見聴取を行うことができました。

令和 8 年度は、次期森林環境税のあり方の検討に資するため、対象を一般県民へ広く拡大し、各地域の特色のある税の活用事例を紹介しながら、税に関する多様な意見を聴取する目的で開催しようとするものです。

そのため、「幅広い層への周知及び参加促進（集客）」と、「多様な参加者から効果的に意見を引き出すための運営やファシリテーション」が主な課題と捉えています。

【質問 3】

座談会について、地域ごとに対象となる参加者の年代を分けて実施するのか。

【回答 3】

今回の座談会では税の延長の賛否に関して幅広い層の県民から意見を聴く必要があるため、地域ごとに参加者の年代を分けて実施することは想定していません。全ての地域で幅広い年代の方にご参加いただけるよう、参加者の募集を行います。

【質問4】

法人アンケート調査について、調査票等を2,000部作成することとなっているが、実際に調査票を発送する数も2,000部という理解で間違いはないか。

【回答4】

発送数も2,000部となります。

【質問5】

委託業務仕様書5ページ(4)報告書の作成のうち、「令和4年度に実施した委託業務の別紙成果品」については、どこで確認できるか。

【回答5】

・当該報告書について、本業務のプロポーザル公募のページに掲載しましたので、ご確認願います。(https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2026030400168/)